

**子どもたちに意識をもたせるために、
まずは教師が同じレベルの高い危機意識をもって指導に臨む**

- これまで「場面によって外してもよい」としてきたマスクを、「給食時以外は原則着用」とする。よって、登下校時、放課、体育の授業時もマスクを着用させる。
体育については、長距離走やジョギング、50m走など、種目によって一時的に外す場面が考えられる。バスケ・サッカーなど接触を伴う競技についてはマスクをして実施可能。集合場面ではマスク着用の上で「大きく前へならえ」の間隔を意識させる。教師もマスク着用。
 - 音楽の授業におけるリコーダーの使用については危険度が高いと判断し、中断する。
家庭での練習は可とし、冬休み中の課題としてもよい。
 - 教室での合唱はこれまでどおり不可。
 - 日中の消毒を促すため、またストーブ付近での消毒液の使用を避けるために、各学級の消毒液の置き場所は廊下の出入り口付近とする。児童机を一つ廊下に置き、消毒液を設置する。
(ワゴンの置き場所は避ける。設置用の専用台を購入検討中)
 - 手荒れのひどい児童も見られる。ハンドクリームは手指の保護に有効であるため、使用してもよい。持ち帰りは給食用の中着を利用させる。
 - ひざ掛けの使用は着席時のみ。下校時にはたたんで丸めてロッカーへしまう。
- ※ 「マスクの原則着用」「ハンドクリームの使用許可」「清潔なハンカチの持参」を保護者にメール配信する。

もう一度全員で見直し

基本は「換気」「密ダメ」「手洗い消毒」 しつこく声かけ、言葉かけ

- 加湿用のタオル2枚は、常に濡れている状態にしておく。朝と清掃時など、2回濡らせば一日もつ。
- 体育館や音楽室など、特別教室へ行く前（あるいは行ってから）の手洗い・消毒。教室に戻るときも同じ。

日々の粘り強い指導は本当に大変ですが、ここが正念場かと思います。教室に感染者がいることを想定し、クラスターを起こさないための指導をしましょう。よろしくお願いします。